

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | ウォリアーズタウン構想による ～バスケットで街おこし～事業の実施・展開 |
| 事業主体 (連絡先) | 信州ブレイブウォリアーズウォリアーズタウン後援会 kouenkai@b-warriors.net |
| 事業区分 | 主となる区分 3 教育、文化の振興に関する事業 関連する区分 8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 3,997,663円 (うち支援金: 3,198,000円) |

事業内容

【1】 地域の活性化

1) 地域貢献活動を積極的に行う…ウォリアーズタウンカラーに染める

◆BW バナー大作戦

目的 千曲市内をウォリアーズカラーに染め、新シーズンへの機運やまちの賑わいを創出する
信州ブレイブウォリアーズバナー及び、のぼり旗、横断幕、顔出しパネル等の掲示並びに、設置

【2】 ウォリアーズタウン後活動の充実及び広報の充実

1) ウォリアーズタウンミーティングの開催

◆パブリックビューイングの試験開催及び、ウォリアーズタウンミーティングの開催

2) 「ウォリアーズタウンレター」の発行 (年4回発行)
千曲市全戸約21,000世帯及び、試合会場にて配布

【3】 バスケットボールの普及・繁栄

(1) バスケットボールの普及活動

◆市内18保育園・幼稚園に子供用バスケットゴールを無償貸与

事業効果

千曲市合併10数年が経過しているが、旧市町村間の隔たりをなくし、全市上げて街の彩りを創出したのはこの事業が初めてと考え、地域の話づくりにもなった。その結果、各種マスコミ・団体会報誌等から取り上げられる機会が増え、地域の認知度が上がり、千曲地域活性化に寄与出来たと考える。

今後の取り組み

平成30年度は千曲市に新更埴体育館が完成し、新たなホームコートが出来ます。

よって、この機会に今まで以上の「信州ブレイブウォリアーズ」を知ってもらい、認めて頂けるよう、運動を継続したいと考えます。

また、人口減少が進む千曲市に歯止めをかけ、交流人口の増加に繋がる一助になれば良いと考えます。

(活動写真)



【バナーの取付作業】

【目標・ねらい】

- ① 信州ブレイブウォリアーズ運動を通じての地域の活性化
- ② 信州ブレイブウォリアーズ運動を通じて、幼少期からの普及活動

※自己評価【A】

【理由】

多くの市民ボランティアと選手と一緒にバナーやのぼり旗を掲げる作業を行うことで街がチームカラーに染まり、街をみんなで盛り上げていく機運の醸成が図られた。市内の幼稚園、保育園にバスケットゴールを無償貸与することで園児の興味を誘い幼少期からのスタート支援並びに、郷土愛を育む支援を行うことができた

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある